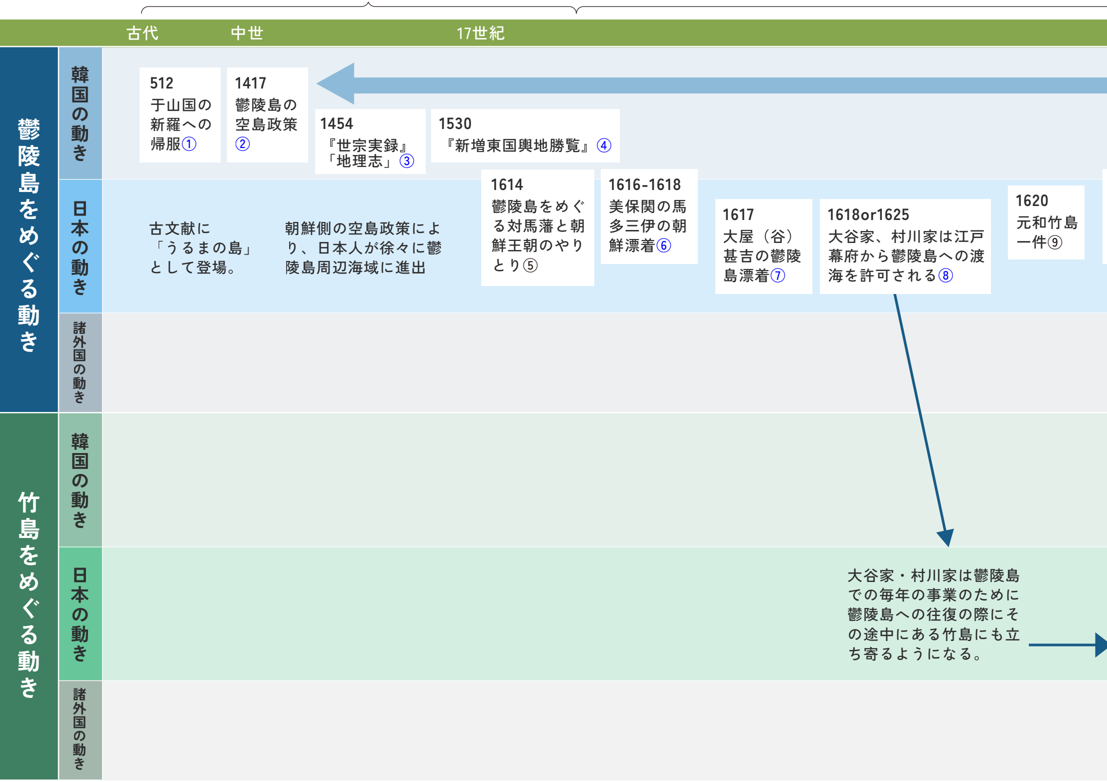
時代区分Ⅰ（鬱陵島の空島政策と日本人の鬱陵島周辺海域への進出）

時代



古代　中世　17世紀

鬱陵島をめぐる動き

韓国の動き

512
于山国の新羅への帰服①

1417
鬱陵島の空島政策②

1454
『世宗実録』「地理志」③

1530
『新増東国輿地勝覧』④

日本の動き

古文献に「うるまの島」として登場。

朝鮮側の空島政策により、日本人が徐々に鬱陵島周辺海域に進出

1614
鬱陵島をめぐる対馬藩と朝鮮王朝のやりとり⑤

1616-1618
美保関の馬多三伊の朝鮮漂着⑥

1617
大屋（谷）甚吉の鬱陵島漂着⑦

1618or1625
大谷家、村川家は江戸幕府から鬱陵島への渡海を許可される⑧

1620
元和竹島一件⑨

諸外国の動き

竹島をめぐる動き

韓国の動き

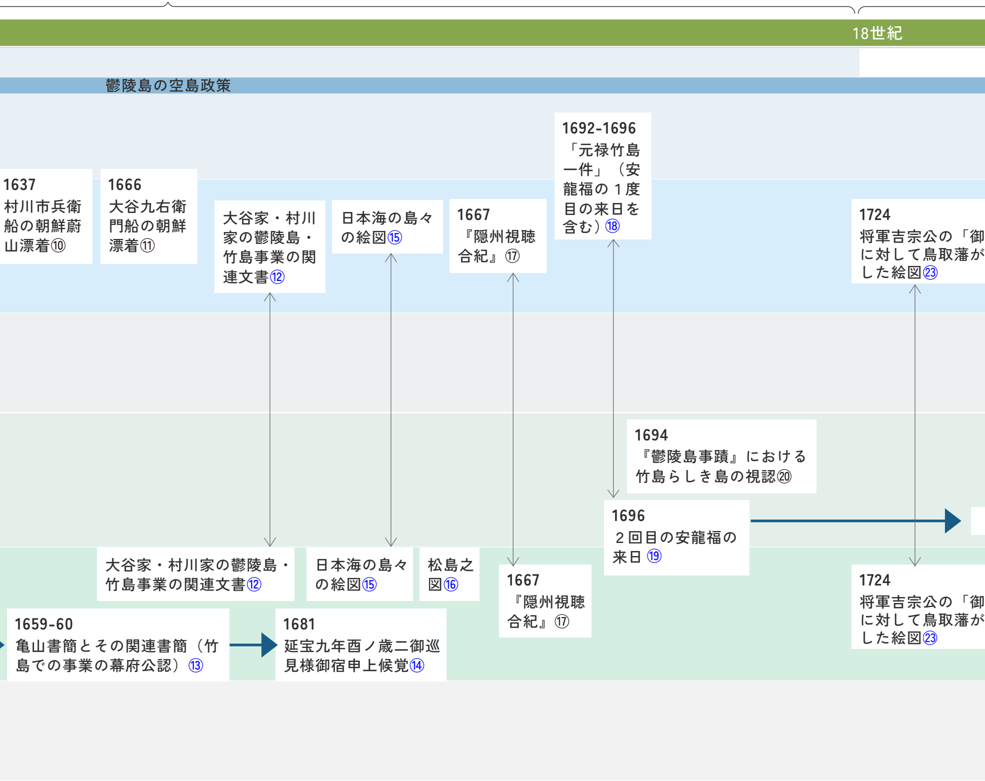
日本の動き

大谷家・村川家は鬱陵島での毎年の事業のために鬱陵島への往復の際にその途中にある竹島にも立ち寄るようになる。

諸外国の動き

1392 朝鮮王朝成立　1603 江戸幕府開府　1633 鎖国令

区分Ⅱ（大谷家・村川家の鬱陵島及び竹島事業）



18世紀

鬱陵島の空島政策

1637
村川市兵衛船の朝鮮蔚山漂着⑩

1666
大谷九右衛門船の朝鮮漂着⑪

大谷家・村川家の鬱陵島・竹島事業の関連文書⑫

日本海の島々の絵図⑮

1667
『隠州視聴合紀』⑰

1692-1696
「元禄竹島一件」（安龍福の１度目の来日を含む）⑱

1724
将軍吉宗公の「御
に対して鳥取藩が
した絵図㉓

1694
『鬱陵島事蹟』における竹島らしき島の視認⑳

1696
２回目の安龍福の来日⑲

大谷家・村川家の鬱陵島・竹島事業の関連文書⑫

日本海の島々の絵図⑮

松島之図⑯

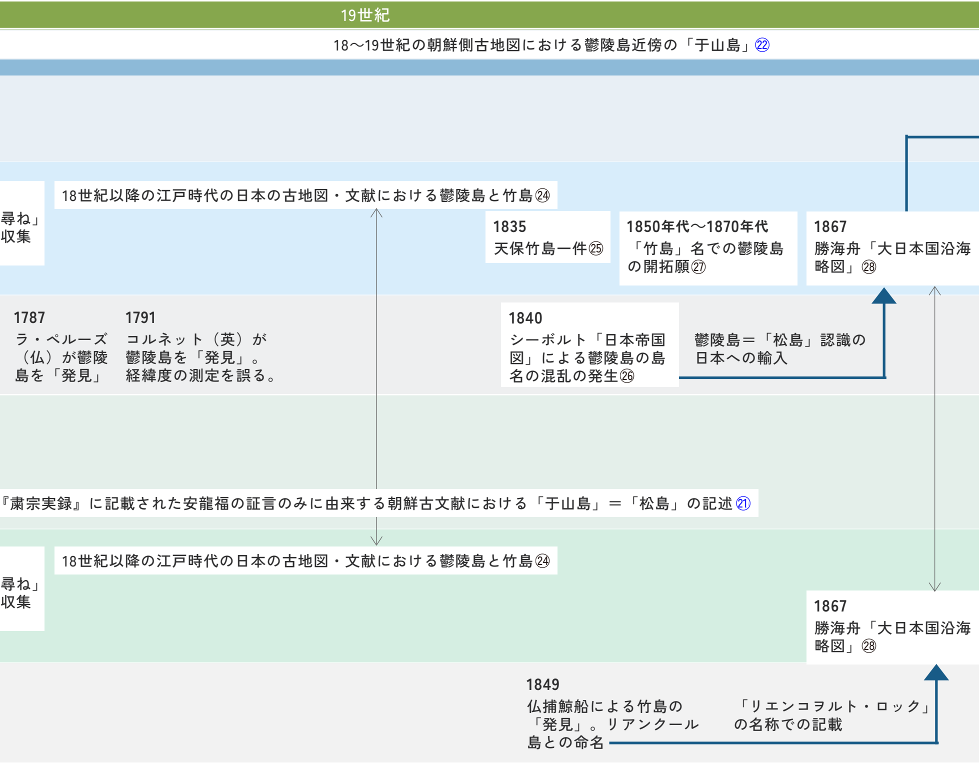
1667
『隠州視聴合紀』⑰

1724
将軍吉宗公の「御
に対して鳥取藩が
した絵図㉓

1659-60
亀山書簡とその関連書簡（竹島での事業の幕府公認）⑬

1681
延宝九年酉ノ歳二御巡見様御宿申上候覚⑭

時代区分Ⅲ（元禄竹島一件後閣議



19世紀

18〜19世紀の朝鮮側古地図における鬱陵島近傍の「于山島」㉒

尋ね」
収集

18世紀以降の江戸時代の日本の古地図・文献における鬱陵島と竹島㉔

1835
天保竹島一件㉕

1850年代〜1870年代
「竹島」名での鬱陵島の開拓願㉗

1867
勝海舟「大日本国沿海略図」㉘

1787
ラ・ペルーズ（仏）が鬱陵島を「発見」

1791
コルネット（英）が鬱陵島を「発見」。経緯度の測定を誤る。

1840
シーボルト「日本帝国図」による鬱陵島の島名の混乱の発生㉖

鬱陵島＝「松島」認識の日本への輸入

『粛宗実録』に記載された安龍福の証言のみに由来する朝鮮古文献における「于山島」＝「松島」の記述㉑

尋ね」
収集

18世紀以降の江戸時代の日本の古地図・文献における鬱陵島と竹島㉔

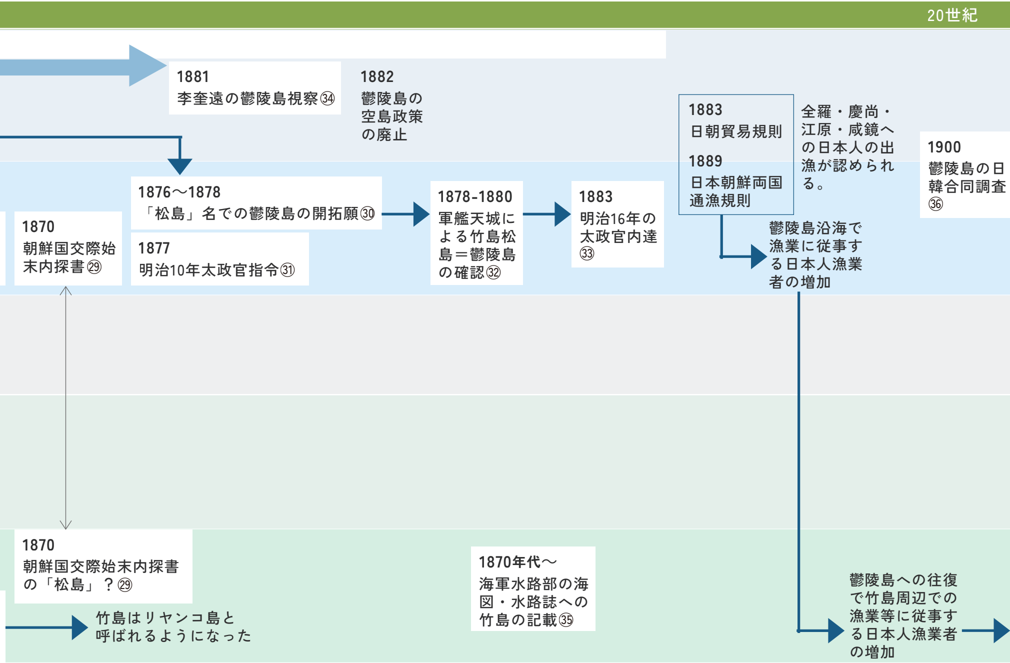
1867
勝海舟「大日本国沿海略図」㉘

1849
仏捕鯨船による竹島の「発見」。リアンクール島との命名

「リエンコヲルト・ロック」の名称での記載

1868 王政

定による竹島の島根県編入まで）



1881
李奎遠の鬱陵島視察㉞

1882
鬱陵島の
空島政策
の廃止

1883
日朝貿易規則

1889
日本朝鮮両国
通漁規則

全羅・慶尚・
江原・咸鏡へ
の日本人の出
漁が認められ
る。

1900
鬱陵島の日
韓合同調査
㊱

1870
朝鮮国交際始
末内探書㉙

1876〜1878
「松島」名での鬱陵島の開拓願㉚

1877
明治10年太政官指令㉛

1878-1880
軍艦天城に
よる竹島松
島＝鬱陵島
の確認㉜

1883
明治16年の
太政官内達
㉝

鬱陵島沿海で
漁業に従事す
る日本人漁業
者の増加

1870
朝鮮国交際始末内探書
の「松島」？㉙

竹島はリヤンコ島と
呼ばれるようになった

1870年代〜
海軍水路部の海
図・水路誌への
竹島の記載㉟

鬱陵島への往復
で竹島周辺での
漁業等に従事す
る日本人漁業者
の増加

復古の大号令　　1876 日朝修好条規　　1894-1895 日清戦争　　1897 大韓帝国成立

時代区分Ⅳ（日本政府による竹島に対する平穏かつ継続的な行政権の行使）

時代区分Ⅴ（連合国日本占

1900
勅令第41号㊲

1946
SCAPIN677
SCAPIN103
㊻

1951
韓国の平和条約案修正要求と米国の拒否（ラスク書簡）㊾

1906
指令第3号㊵

1905-1906
島根県による竹島視察に関する文書㊴

20世紀初頭
アシカ皮の需要増大等による竹島単独での事業の成立

1904-1905
中井養三郎のりやんこ島貸下願と竹島の島根県編入㊳

竹島の所轄に関する行政措置㊶

竹島の産業に関する行政措置㊷

竹島での事業への課税等に関する行政措置㊸

1908　経緯度実測原簿㊹

1905-1941
竹島の事業状況がわかる文書㊺

1946
SCAPIN677
SCAPIN1033
㊻

1946・1951
平和条約起草過程㊽

1947・19
竹島の射
指定㊼

1910 韓国併合

1943 カイロ宣言

1945 ポツダム宣言

領時の竹島）

時代区分Ⅵ（韓国による竹島の不法占拠）

1951
サンフランシスコ平和条約署名。日本は鬱陵島を含む朝鮮を放棄㊿

1951
サンフランシスコ平和条約署名。日本は竹島を保持㊿

51
爆場

1952
「李承晩ライン」内に竹島が含まれる。日本の抗議(51)

1953-1954
日本側巡視船への銃撃と韓国への竹島不法占拠(55)

1952-1965
日韓の口上書のやりとり(56)

1952
日米合同委員会による竹島の射爆場指定と解除(54)

1952-1954
竹島及びその周辺での行政措置(53)

1952
「李承晩ライン」に対する各国の抗議(52)

1952-
サンフランシスコ平和条約の竹島の取扱いに関する各国の認識㊿

1952 韓国による「海洋主権宣言」